令和6年度 家庭科部の指導方針等について

令和6年4月1日

1 指導体制

顧問教諭氏名	
主顧問	佐藤 綾香
副顧問	山本 美津子

2 年間目標

- (1) 部活動を通して、高校生として身につけるべき人間性を育む。
- (2) 部員同士が切磋琢磨しながら、実践的な技術と自己表現力を身に付ける。
- (3) 文化祭での発表に向け、日々の実習に取り組む。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
実習は原則週に1日間とし、実習時間は平日2時間を基本とし、モチベーションを高め、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
実習の計画や材料の調達は、生徒が分担、協力して行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、教室清掃など、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
全体での話し合いや、班ごとの活動を通して、協調性や責任感を涵養する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
顧問は、体罰、暴言等による指導はいかなる場合も行わない。
- (2) 生徒間の暴力禁止
生徒同士トラブルの際に、言葉の暴力を含め、他者を傷つけることで問題解決を図ることのないよう、日頃から指導する。
- (3) 事故防止・安全配慮
実習に伴う事故の可能性を予測して注意喚起を行い、教室をきれいな状態で保ち、けが等が起こらない安全な環境を作る。

5 活動の手順

- (1) 担当の部員は、活動日の前日までに材料の買い出しを行う。
- (2) 各部員は、実習の計画に基づき活動する。
- (3) 実習で作った作品を試食し、写真に撮って記録する。
- (4) 道具の片づけと教室の清掃を行う。
- (5) 次回の活動の計画を立てる。